

「共感」でつながる、新しい地域応援のカタチ！

～クラウドファンディングで実現した、想いと挑戦を紹介！～

株式会社グローバル・クラウドファンディング

▶前月号では、「事業投資型クラウドファンディング」の仕組みや特徴をご紹介しました。「地域を応援したい」といった想いを、1口1万円などの少額から“出資”という形で実現できる、新しい応援のカタチです。今回は大きな反響を呼んだファンドをご紹介し、どのように地域の挑戦を後押ししているのか、皆様にお伝えします！

1. 「事業投資型クラウドファンディング」の成功事例

『西原村から届ける山田さんちの牛乳ファンド』（熊本県・有限会社山田牧場）



熊本・西原村で酪農業を営む山田牧場。その挑戦に共感の輪が広がり、募集開始からわずか10日で、目標金額600万円を達成しました。全国から寄せられた92名の出資者による“意思あるお金”と、心のこもった“応援の声”。それらは、山田牧場が描く未来への力強い一歩となり、地域に根ざした商品づくり、そして次世代の酪農を育む礎となっています。

一人ひとりの想いが集まり、山田牧場の未来が、
今、確かに動き出しています。



共感ポイント🏠 「前に進む」酪農家 山田政晴さんの想い

有限会社山田牧場は、自然豊かな阿蘇・西原村の地で、半世紀近くにわたり、愛情いっぱいに牛を育ててきました。

牧場を牽引するのは、75歳の現役酪農家の山田政晴代表。熊本地震で甚大な被害を受けた地域の復興に、「自分たちの牧場の未来を」という信念で仲間を支えました。

今回のファンドは、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。



酪農は、大地と語り合う営みです。雨の日も風の日も、休むことなく、牛たちと向き合い続けています。でも、それだけに留まらず、未来を届けたいのです。「自分の人生にはバックギアはない」——そう、向いて進み続けるその姿勢が、未来を照らしています。

出資者には、牧場の人気商品「山田さんちの牛乳」や「山田さんちのアイスクリーム」などの他、西

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)